

Title	第 25 回大学教育研究セミナー：実施報告
Author	西垣, 順子
Citation	大阪市立大学大学教育. 17 卷 2 号, p.56.
Issue Date	2020-04-30
ISSN	1349-2152
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	Publisher
Publisher	大阪市立大学大学教育研究センター
Description	女性研究者支援室主催の「ダイバーシティ海外研究報告会」と同時開催
DOI	10.24544/ocu.20200622-007

Placed on: Osaka City University

第25回大学教育研究セミナー 実施報告

(女性研究者支援室主催の「ダイバーシティ海外研究報告会」と同時開催)

【テーマ】 大学のジェンダー平等政策・教育をいかに評価するか
－アメリカ・イギリス・ドイツの先進事例から－

【日時・場所】

2019年12月26日（木）18時30分～20時30分
学術情報総合センター 10F 研究者交流室

○報告Ⅰ

「ジェンダー平等推進のための認証制度（アテナスワン顕彰）と人事評価
－UCLとベルリン自由大学の事例から－」

講師：大阪市立大学 女性研究者支援室 プログラムディレクター、
特任准教授 西岡 英子

○報告Ⅱ

「多様性を認めて深める評価の探索
－ウィスコンシン大学マディソン校LEADを訪ねて－」

講師：大阪市立大学 大学教育研究センター 准教授 西垣 順子

大学界におけるジェンダー平等の推進は世界的に課題になっているが、具体的な取り組み方は政策レベルでも各大学の取組レベルでも国や地域によって異なっている。イギリスやドイツでは政策的な仕組みが取り入れられているが、米国ではそのような仕組みは少ない。他方で共通している取組として、誰もが知らず知らずに行動のベースにしている女性やエスニックマイノリティへのアンコンシャスバイアスを克服していこうという取組は様々な形で展開されている。これらの取組について、各国の大学への訪問調査を踏まえた報告と議論があった。



※ 第25回大学教育研究セミナーは全学FD委員会と共催で全学FD事業としても実施した。

文責：西垣順子